

第百五十七号議案

東京都福祉住宅条例の一部を改正する条例

右の議案を提出する。

令和元年九月三日

提出者 東京都知事 小 池 百 合 子

東京都福祉住宅条例の一部を改正する条例

東京都福祉住宅条例（昭和三十五年東京都条例第三十八号）の一部を次のように改正する。
第九条第一項中「連帯保証人一人の署名する請書」を「請け書」に改め、同項ただし書を削る。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

2 この条例による改正後の東京都福祉住宅条例（以下「新条例」という。）第九条第一項の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に同条第二項の規定による使用承認を受ける者から適用する。

3 施行日前に提出された請け書のうち、新条例第九条第二項の規定による使用承認に係るものについては、同条第一項の規定により提出された請け書とみなす。

（提案理由）

東京都福祉住宅への入居の円滑化を図るため、連帯保証人に係る規定を削除する必要がある。